

全国高校総体

第7日

全国高校総体（インタ） 高知県立春野総合運動公園テニスコートなどで行
18日）第7日は3日、

われ、テニスの女子シングルスで県勢として9年ぶりの決勝へ進んだ砂田未樹（松商学園）は、津田梨央（愛知県名古屋経大市郵）に0-2で敗れて準優勝だった。

砂田（松商）胸を張れる準V



テニス女子シングルス決勝 準優勝した砂田未樹

テニス

（高知県立春野総合運動公園テニスコート）

▽男子シングルス決勝
高妻 蘭丸（愛媛・新）6-4
分舞鶴（大分・大）6-2

▽男子ダブルス決勝
松岡 西（当）仲（7-6）
山田（法政）仲（7-6）

▽女子シングルス決勝
砂田 未樹（松商）6-4
長野（古）6-0

▽女子ダブルス決勝
成津 名田（山）野（7-6）

病気を乗り越えて仲間と高め合い伸ばした力

「ベスト出せて良かった」笑顔

夏の女王を決めるテニス女子シングルス決勝の舞台。最後はバックハンドがラインを越え、砂田はコートに視線を落とし、だが、中学時代は全国大会2回戦が最高だった選手が、高校で力を伸ばして準優勝。胸を張れる成績だ。第1セット。力のある

1年生の安定したストロークに振り回され、「準決勝までは決まっていた

球を返された。焦りが出た。我儘なミスが続き、第2セットは競り合っ展開に持ち込んだが、終盤は暑さと疲労からかやや動きが鈍って押し切られた。富山県出身。小学1年

から始めた競技生活は、順風満帆とはいかなかった。中学2年時に肺気胸を患うと、中学3年にかけて5度も手術を受けたという。「気胸を繰り返した。だが、ライバルが大会で結果を出した。周りのサポートを受けながら続けてきた。進学後は練習量を削減しながらも、県内外から集まったチームメイトと高め合って成長。3月の全国選抜大会の団体初優勝にも貢献し、山田監督は「いろんな歴史をつくってくれた。本当に良くやってくれた」と目を細めた。

大学でも競技を続けるつもりだ。高校最後のインターハイを終え、「良い終わり方ではないけれど、ベストを出せて良かったし、楽しかった」とさわやかな笑みを浮かべた。

（片井雅也）